

## 米国 予想を下回ったが同地区製造業の拡大ペースは加速中 (07年7月フィラデルフィア連銀製造業景況指数)

発表日：2007年7月19日（木）

～新規受注は高い水準を維持～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治(かつらはた せいじ)

(03-5221-5001 : [sei.ji@dlri.dai-ichi-life.co.jp](mailto:sei.ji@dlri.dai-ichi-life.co.jp))

- 7月のフィラデルフィア連銀製造業景況指数（フィラデルフィア連銀管轄地区の製造業、ゼロが拡大縮小の分岐点）は+9.2と市場予想の+13.8を下回った。ただし、この統計は月次での変動が大きいため、3ヵ月移動平均でみると、総合指数は同地区製造業部門が拡大ペースを速めていることを示している。
- 7月はNY連銀製造業景況指数（エンパイア・ステイト景況指数）が前月から上昇した一方、フィラデルフィア連銀製造業景況指数が低下した。ただし、ISM製造業景況指数に先行するISM製造業新規受注・在庫比率が6月に上昇したことを考慮すると、7月のISM製造業景況指数は55.4と6月の56.0から小幅低下にとどまると予想される。
- 市場では若干の反応にとどまった。

フィラデルフィア連銀製造業景況指数

	現状 総合	フィラデルフィア連銀製造業景況指数									6ヵ月先見通し 総合
		新規受注	出荷	在庫	雇用	出荷遅延	受注残	販売価格	仕入れ価格	交易条件	
06/10	2.3	10.7	6.1	10.9	10.4	▲ 4.8	▲ 10.5	17.2	32.7	▲ 15.5	16.9
06/11	5.4	▲ 1.1	7.8	5.3	3.0	1.8	▲ 5.5	7.4	25.2	▲ 17.8	9.1
06/12	▲ 2.3	▲ 0.9	14.0	▲ 0.9	7.5	▲ 4.9	▲ 18.6	8.9	19.0	▲ 10.1	5.4
07/01	8.3	1.3	23.9	0.4	7.9	▲ 7.1	▲ 15.4	11.6	11.9	▲ 0.3	22.4
07/02	0.6	▲ 0.5	1.7	▲ 1.9	▲ 0.4	▲ 6.3	▲ 10.5	9.4	15.8	▲ 6.4	20.3
07/03	0.2	1.9	6.8	▲ 3.7	2.3	▲ 13.2	▲ 20.9	16.3	21.8	▲ 5.5	17.4
07/04	0.2	2.8	4.3	▲ 3.1	2.5	▲ 11.9	▲ 13.7	5.2	24.3	▲ 19.1	25.8
07/05	4.2	8.7	9.3	▲ 6.9	12.9	▲ 8.2	▲ 9.1	2.2	32.3	▲ 30.1	30.8
07/06	18.0	18.3	5.0	▲ 8.2	5.6	▲ 3.5	▲ 0.7	5.1	29.7	▲ 24.6	16.7
07/07	9.2	11.3	20.3	0.8	4.1	▲ 1.1	3.2	8.8	28.1	▲ 19.3	30.4

(出所) フィラデルフィア連銀

### 9.2と前月から低下

07年7月のフィラデルフィア連銀製造業景況指数（フィラデルフィア連銀管轄地区の製造業、ゼロが拡大縮小の分岐点）は+9.2と市場予想の+13.8を下回った。ただし、この統計は月次での変動が大きいため、3ヵ月移動平均でみると、総合指数は同地区製造業部門が拡大ペースを速めていることを示している（2Pグラフ参照）。

### 同地区の生産は目先鈍化が見込まれる

現状判断を個別にみると、新規受注がプラス幅を縮小したことから、同地区の生産活動は目先鈍化すると予想される。インフレ面では、仕入れ価格が高い水準にとどまっております川上からのインフレ圧力が強い状況にある。一方、販売価格が前月からプラス幅を拡大したものの小幅だったことから、交易条件は若干の改善にとどまり、引き続きコスト削減圧力の強い状況が持続している。このような中、雇用指数が+4.1とプラス幅を縮

小したことから、同地区製造業雇用は小幅増加にとどまることが示唆されている。

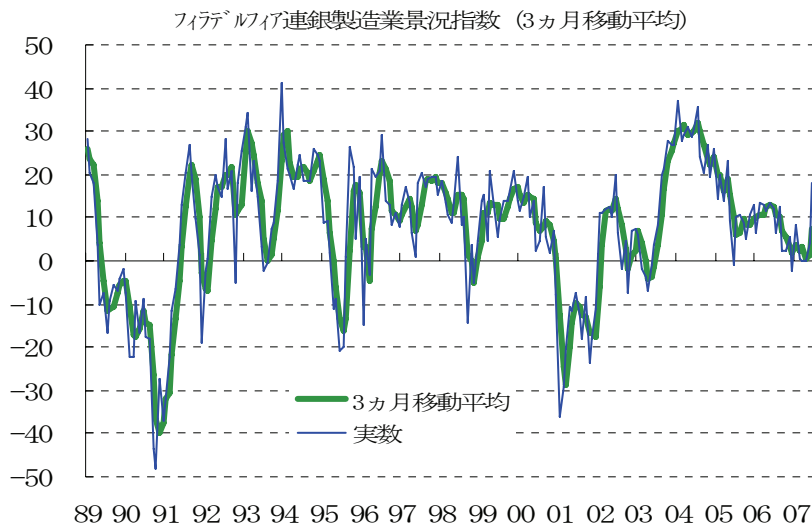
### 半年後の見方は7月の 現況調査の低下によっ て上昇幅が拡大した

先行きについての調査では、半年後の景況感を示す指数が+30.4と6月の+16.7から上昇し、半年後の新規受注も前月から大幅に上昇した。しかし、比較対象となる7月の現状判断の水準が低下した影響であり、楽観的な見方の強い状況が最近数ヶ月続いていると考えられる。半年後の収益環境では、「販売価格が上昇するとの見方の割合」の上昇幅を「仕入れ価格が上昇するとの見方の割合」の上昇幅が上回ったことから、交易条件の悪化が予想されている。このような見通しのもと、在庫の減少が見込まれており企業はコスト抑制のために在庫の削減を継続するとみられる。一方で、半年後の労働時間が上昇し、雇用のプラス幅も拡大していることから、採用の拡大が見込まれる。

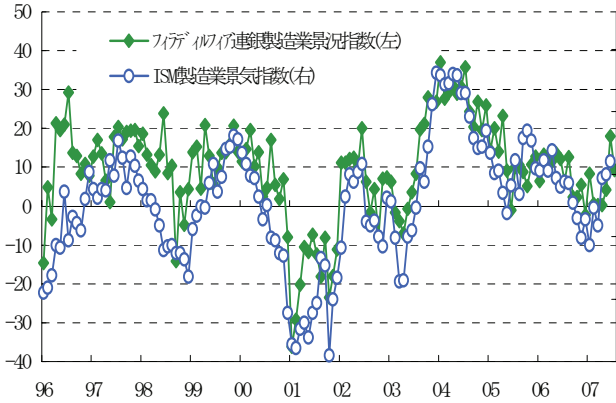
以上のように、今後もフィラデルフィア地区連銀管轄の製造業はコスト削減策を継続する可能性が高い。一方で、半年後の設備投資見通しが+18.8と前月から上昇しており、同地区製造業の設備投資拡大ペースの再加速を示唆している。

### 7月のISM製造業景 気指数は前月から小 幅低下する可能性

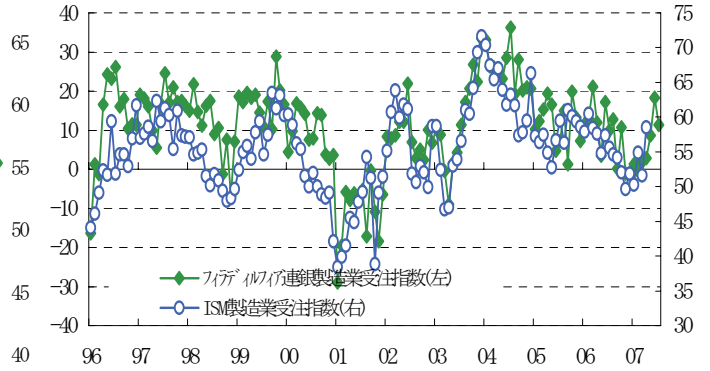
フィラデルフィア連銀製造業景況指数は、ペンシルベニア州東部、デラウェア州、ニュージャージー州南部の製造業の景況感を表す指標であるが、全国の製造業の景況感を示すISM製造業景気指数と似た動きをすることが多い。7月はNY連銀製造業景況指数（エンパイア・ステイト景況指数）が前月から上昇した一方、フィラデルフィア連銀製造業景況指数が低下した。ただし、ISM製造業景気指数に先行するISM製造業新規受注・在庫比率が6月に上昇したことを考慮すると、7月のISM製造業景気指数は55.4と6月の56.0から小幅低下にとどまると予想される。



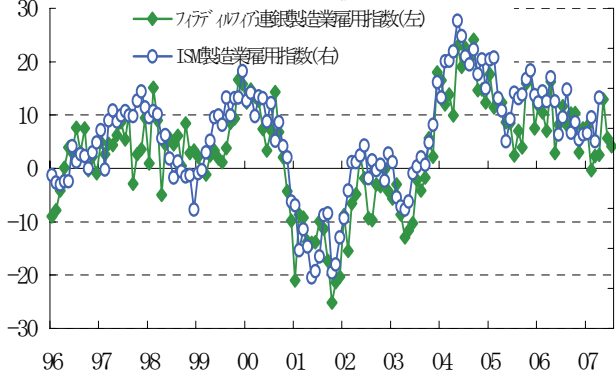
フィデリアル・インベスメント・リサーチの製造業景況指数とISM製造業景況指数の推移



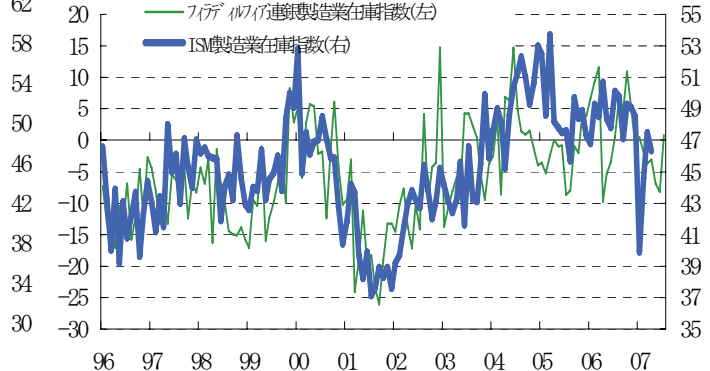
フィデリアル・インベスメント・リサーチの製造業受注指数とISM製造業受注指数の推移



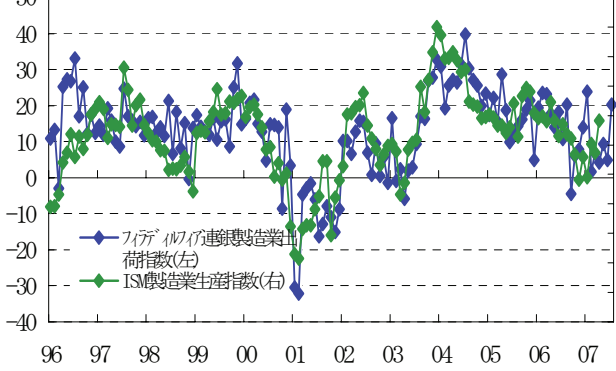
フィデリアル・インベスメント・リサーチの製造業雇用指数とISM製造業雇用指数の推移



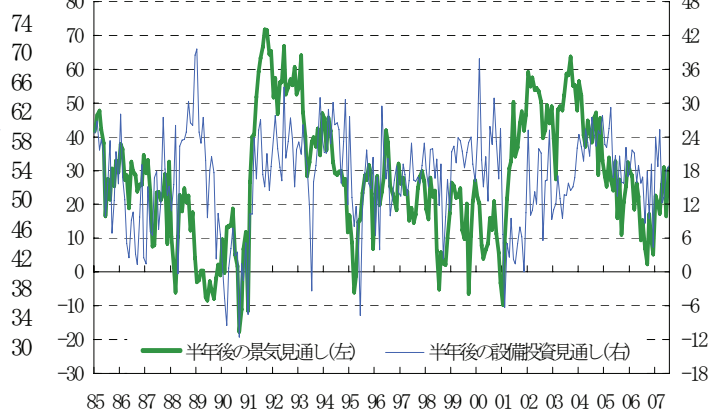
フィデリアル・インベスメント・リサーチの製造業在庫指数とISM製造業在庫指数の推移



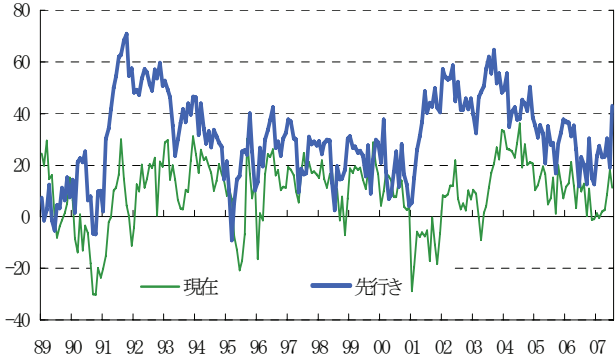
フィデリアル・インベスメント・リサーチの製造業出荷指数とISM製造業生産指数の推移



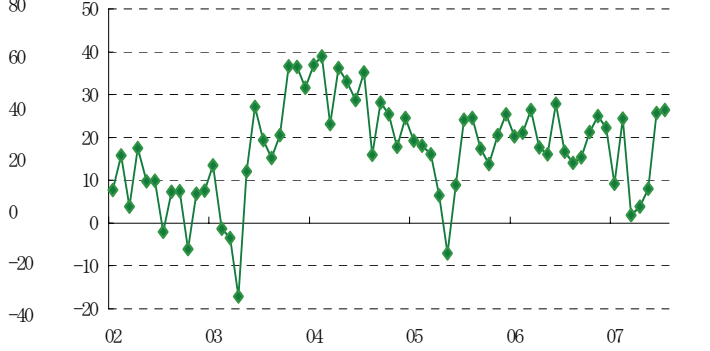
半年後の景気、設備投資見通しの推移



現在と先行きの新規受注の推移



N1製造業景況指数の推移



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。